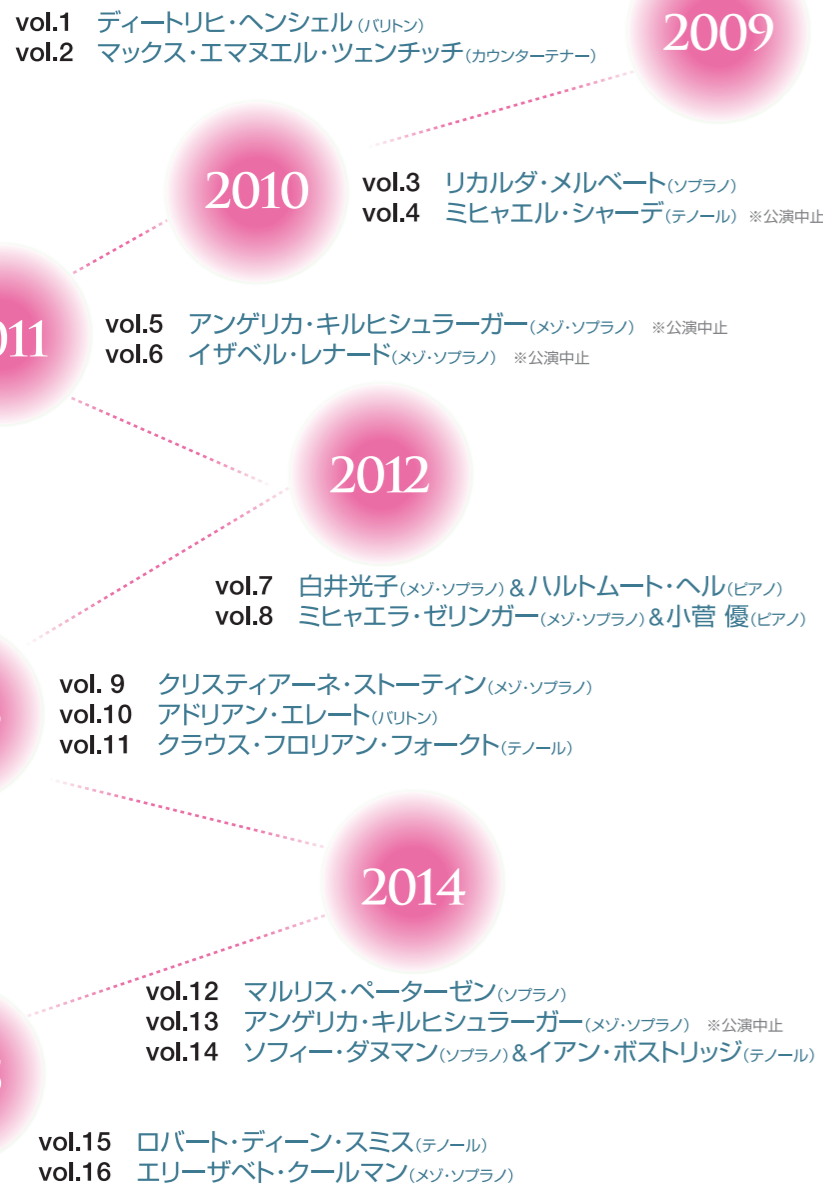


桜の花が空を覆う眺めは、なぜか人を孤独にする。散ってゆく花びらの一枚一枚が、周りとの関係をひとつひとつ断ち切ってゆくかのように。だからこそ逆に、人は憑かれたように桜の花の下で人を求め、宴に走るのだろう。

歌曲の演奏が心にしみてくるとき、なぜか私は孤独になる。まるで周りからの視線をひとつひとつはずして、自分の中を覗き込むかのように。思いも掛けず自らの心の模様が見えることもあって、私は憑かれたように東京・春・音楽祭の歌曲シリーズを聴きに東京文化会館小ホールに走る。このシリーズは名前のあるなしにとらわれず、まさに歌曲芸術そのものだけを追求している歌手とピアニストをそろえるからである。2014年のマルリス・ペーターゼン(ソプラノ)、2015年のエリーザベト・クールマン(メゾ・ソプラノ)、いずれの歌も親密に、そして冷たく、そして熱情的に、知的に、官能的に、聴くこちら側に溶け込んできた。時は春。建物をへだてた向こうに広がる夜桜から小ホールの会場に忍び込む妖気を見ている気がして、私は陶醉した。

これまでの東京春祭 歌曲シリーズ



2016年の春の桜は

2016年の春の歌曲シリーズ(東京文化会館小ホール)はメゾ・ソプラノのタラ・エロートとピアノのヘニング・ルーエから(3月25日)。エロートはベッリーニ《カプレティとモンテッキ》ロメオ役やR.シュトラウス《ばらの騎士》のオクタヴィアン役などで大喝采を浴び世界のオペラ劇場で最も期待されている一人だが、この歌曲プログラムを見ると、いかに彼女が歌曲に力を入れているかが分かる。リストの《愛しきものよ、われもし王なりせば》から始まって、ブラームスの《甲斐なきセレナーデ》に至るころには聴衆はすっかり魅了されているに違いない。春の夜の妖気が忍び込んできそう。後半のR.シュトラウス《万霊節》《セレナーデ》《夜》など、歌詞のつながり、曲調の流れ、など魅力があふれている。

続いてテノールのクリストフ・プレガルディエン(4月2日)。何度も来日して名唱を聴かせてくれているが、今回は聴き逃さないだろう。なぜなら、シューベルトの最高傑作《冬の旅》を管とアコーディオンとのアンサンブル版によって日本初演するからである。プレガルディエンは声の多彩な色で作品から幻想味を引き出すところが大きな魅力のひとつだが、管楽器の色合い、アコーディオンの哀愁と溶けあって、不思議な音の世界を創り出してくれるに違いない。アンサンブルにフルートの小山裕幾、オーボエ=金子亜未、クラリネット=西川智也、ファゴット=長哲也、ホルン=日橋辰朗、アコーディオン=ジョセフ・ペトリック、と極めつけの名手がそろえるのも嬉しい。

歌曲シリーズの最後はバス・バリトンのトマス・コニエチユニーとピアノのレフ・ナピェラウ(4月13日)。このポーランド出身のスターもまた内面を深く追求する。ロシア音楽は、ロシア・ピアノリズムにおいても歌を基本としているように、実は歌曲の宝庫である。ここではラフマニノフの美しい《ロマンス集》を堪能したい。

梅津時比古(毎日新聞 学芸部特別編集委員)

東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森2016- 3.16 Wed.-4.17 Sun.

東京の春の訪れを、音楽を媒介としたお祭りて祝う——明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野公園を舞台に、桜の美しい時期に1ヵ月にわたり開催する音楽祭です。東京文化会館での「ワーグナー・シリーズ」や国内外の一流アーティストによる公演をはじめ、美術館・博物館を会場とした「ミュージアム・コンサート」、無料の小さなコンサート「桜の街の音楽会」など、約130公演を開催いたします。桜が咲きほころぶ春のひとつに、上野のあらゆる場所から、色とりどりの音楽が聴こえてくる——そんな「東京・春・音楽祭-東京のオペラの森2016-」が東京—上野の春を美しく彩ります。

春が訪れ  
桜がひらいて  
音楽が始まる  
上野の森に

チケット好評発売中

U-25は2月12日[金]12:00より発売開始  
[公式サイトのみで取扱い]

東京・春・音楽祭チケットサービス

お電話でのお申込み

03-3322-9966

オペレーター対応[営業時間 10:00-18:00 土日祝:休]

オンライン <http://www.tokyo-harusai.com/>

(座席選択可・登録無料)

プレイガイド  
その他

- 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650(オペレーター)
- チケットぴあ <http://w.pia.jp/t/harusai/> 0570-02-9999(音声自動応答)☎597-881
- ローソン・チケット <http://l-tike.com/harusai/> 0570-084-003(音声自動応答)☎31412
- e+(イープラス) <http://eplus.jp/harusai/>

公式サイト  
限定の  
嬉しい  
サービス!



公式サイト内オンライン・チケットサービス限定で、左記サービスをご利用いただけます。サービスの対象となる公演や座種および、取扱チケット枚数は限定されております。詳細は公式サイト「チケット」ページにてご確認ください。

※車椅子席、団体のご鑑賞等、詳しくは東京・春・音楽祭実行委員会までお問合せください。※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※掲載の情報は2016年1月20日現在のものです。掲載の曲目は変更になる場合がございます。また、当日の演奏順とは異なる場合がございます。やむを得ぬ事情により、内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更による払戻しはいたしませんので、あらかじめご了承ください。

公演に関するお問合せ 東京・春・音楽祭実行委員会 03-5205-6497

東京春祭 歌曲シリーズ  
Tokyo-HARUSAI Lieder Series

タラ・エロート (メゾ・ソプラノ)  
Tara Erraught (Mezzo Soprano)  
vol.17  
3/25  
March 25 [Fri.] at 19:00

クリストフ・プレガルディエン (テノール)  
Christoph Prégardien (Tenor)  
vol.18  
4/2  
April 2 [Sat.] at 18:00

トマス・コニエチユニー (バス・バリトン)  
Tomasz Konieczny (Bass Baritone)  
vol.19  
4/13  
April 13 [Wed.] at 19:00

東京文化会館 小ホール

Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

主催:東京・春・音楽祭実行委員会  
後援:アイルランド大使館(3/25公演) ドイツ連邦共和国大使館(4/2公演) ポーランド広報文化センター(4/13公演)  
助成:公益社団法人企業メセナ協議会 2021 芸術・文化による社会創造ファンド





vol.17

# タラ・エロート

(メゾ・ソプラノ)

©Christian Kaufmann

**Tara Erraught** (Mezzo Soprano)

瞬く間に世界中の歌劇場から注目を集めたアイルランド出身の歌姫タラ・エロート。才能ある数々のアーティストの中で、選ばれた者だけに開かれたスター街道を歩む「ライジング・スター」のデビューを東京春祭で。

# 3/25

19:00 [金]

March 25 [Fri.] at 19:00

## 東京文化会館 小ホール

Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall  
S¥6,200 A¥ 4,600 U-25¥1,500 (税込)

- リスト:  
愛しきものよ、われもし王なりせば S283 / ローレライ S273 / アルプスの狩人 S292-3 / おお! 私が眠りにつくときは S282 / 若き日の幸せ S323
- ハイドン:  
ペレニーチェのシェーナ Hob.XXIVa:10
- ブラームス:  
甲斐なきセレナーデ op.84-4 / わが恋は緑 op.63-5 / 五月の夜 op.43-2 / おとめの呪い op.69-9
- R.シュトラウス:  
万霊節 op.10-8 / 献呈 op.10-1 / 夜 op.10-3 / セレナーデ p.17-2 / 明日には! op.27-4 / ツェチャーリエ op.27-2
- ロッシーニ:  
悲しみよ去りゆけ(歌劇《シンデレラ》より)

- Liszt: Enfant, si j'étais roi S283 / Die Loreley S273 / Der Alpenjäger S292-3 / Oh ! quand je dors S282 / Jugendglück S323 ●Haydn: Scena di Berenice Hob.XXIVa:10 ●Brahms: Vergebliches Ständchen op.84-4 / Meine Liebe ist grün op.63-5 / Die Mainacht op.43-2 / Mädchenfluch op.69-9 ●R. Strauss: Allerseelen op.10-8 / Zueignung op.10-1 / Die Nacht op.10-3 / Ständchen op.17-2 / Morgen ! op.27-4 / Cäcilie op.27-2 ●Rossini: Non più mesta ("La Cenerentola")

### タラ・エロート(メゾ・ソプラノ)

Tara Erraught (Mezzo Soprano)

アイルランド・ダングルク生まれ。ダブリンのアイルランド王立音楽院でヴェロニカ・ダンに師事。2008年よりバイエルン国立歌劇場オペラ・スタジオのメンバー。リートとオペラのレパートリーを広げるべくブリギッテ・ファスベンダーに師事。バイエルン国立歌劇場、ワシントン・ナショナル・オペラ、ウィーン国立歌劇場他で、モーツァルト《魔笛》、ヤナーチェク《マクロブロス事件》、R.シュトラウス《無口な女》、ロッシーニ《シンデレラ》等に出演。08年ヤクブ・プスティナ国際声楽コンクール第1位、同年のハンス・カボア・ベルヴェデーレ国際声楽コンクールでヒューストン・グラント・オペラ賞、ワシントン・ナショナル・オペラ賞等。

### ヘニング・ルーエ(ピアノ)

Henning Ruhe (Piano)

ハンブルク生まれ。フランク・リスト音楽院で学ぶ。世界中でピアノリサイタル、歌曲リサイタルに出演。パリのシャトレ座、ニューヨークのIMG Artists等でオペラ・マネジメントにも従事。バイエルン国立歌劇場の若手育成プログラム「オペラ・スタジオ」所長を務める。



vol.18

# クリストフ・プレガルディエン

(テノール)

©CHALLENGE RECORDS INT.

**Christoph Prégardien** (Tenor)

深淵な歌唱と表現で聴かせるプレガルディエン。フォルジェの編曲で木管五重奏とアコーディオンの演奏を伴った《冬の旅》は本邦初演。詩人ミユラーが最終的に遺した曲順(ものがたり)で、孤独な主人公のこころを、より切なく紡ぎます。

# 4/2

18:00 [土]

April 2 [Sat.] at 18:00

## 東京文化会館 小ホール

Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall  
S¥7,200 A¥ 5,200 U-25¥1,500 (税込)

- シューベルト(フォルジェ編): 《冬の旅》 D.911 (室内楽版)
- Schubert (arr. by Forget): "Winterreise" D.911 (Chamber Version)

### クリストフ・プレガルディエン(テノール)

Christoph Prégardien (Tenor)

ドイツ生まれ。1977年よりフランクフルト音楽大学、ミラノ、シュトゥットガルトで学ぶ。在学中にドイツ放送音楽コンクールに優勝。レオンハルト、ブリュッヘン、コープマン、ヘレヴェッハ、カーディナー、アーノンクールといった名指揮者と共演。古典から現代曲、アンサンブル、オペラ、リートと各分野で活躍。宗教曲のソリストに加え、リート歌手としてもウイグモアホール等、世界の著名なホールでリサイタルを開催。編曲版によるドイツリートの演奏にも力を入れており、アンサンブル・コントラストとの室内楽版によるシューマン、マーラーの歌曲や、木管五重奏とアコーディオンによる《冬の旅》が話題になった。シューベルトのピアノ版、いわゆる原典版の演奏は、今年の2月公演で100回を数える。CDも多く、受賞作多数。

### 小山裕幾(フルート)

Yuki Koyama (Flute)

第6回神戸国際フルートコンクールで日本人初の第1位。2010年、慶應義塾大学卒業後、バーゼル音楽院で学ぶ。14年12月フィンランド放送交響楽団首席奏者に就任。リサイタルに加え、NHK交響楽団、新日本フィル他と共演。第17回 outgoing music award。07年、新潟県知事賞。



### 金子亜未(オーボエ・ダモア)

Ami Kaneko (Oboe d'amore)

東京藝術大学を首席で卒業。安宅賞、アカンサス音楽賞、三菱地所賞。第28回日本管打楽器コンクール・オーボエ部門第1位。第10回国際オーボエコンクール軽井沢第2位、奨励賞、軽井沢町長賞(聴衆賞)。現在、札幌首席奏者。2016年4月より新日本フィル首席奏者。



### 西川智也(クラリネット)

Tomoya Nishikawa (Clarinet)

大阪教育大学卒業。東京藝術大学大学院修士課程修了。N響アカデミー修了。第23回宝塚バグ音楽コンクール第2位、第9回東京音楽コンクール木管部門第1位、第24回日本木管コンクール第1位等。日本フィル、東京フィル等と共演。現在フリーランス奏者として活躍。



### 長哲也(ファゴット)

Tetsuya Cho (Bassoon (Fagott))

東京藝術大学卒業と同時に東京都交響楽団首席奏者に就任。第30回日本管打楽器コンクール第2位等。JTが育てるアンサンブルシリーズや音楽祭に出演。永江恵子、石川晃、水谷上総らに師事。ダーク・イェンセン、マルクトウレネルらのマスタークラスで研鑽を積む。



### 日橋長朗(ホルン)

Tatsuo Nippashi (Horn)

東京音楽大学卒業。第26回日本管打楽器コンクール第1位、特別大賞、東京都知事賞他。第80回日本音楽コンクール第1位、岩谷賞、E.ナカミチ賞。2007～11年、小澤征爾音楽塾に参加。日本フィルハーモニー交響楽団を経て、2015年4月から読売日本交響楽団首席奏者。



### ジョセフ・ペトリック(アコーディオン)

Joseph Petric (Accordion)

現代音楽祭、コンサート、ベルリン・フィル室内楽シリーズ等に出演。欧米の主要ホールに登場し、ソロ、室内楽、協奏曲、即興分野の演奏に秀でた才能を発揮。13の協奏曲を含む230以上の作品が彼のために書かれている。30タイトルを超える録音も高い評価を得ている。



vol.19

# トマス・コニエチュニー

(バス・バリトン)

©Claudia Today

**Tomasz Konieczny** (Bass Baritone)

ハルサイ・リング(ラインの黄金)での名演が記憶に新しいコニエチュニーによる、待望のリサイタル。強靱さと繊細さを合わせ持つ至高の声、当代きつてのドラマティック・バス・バリトンが贈る春の一夜。

# 4/13

19:00 [水]

April 13 [Wed.] at 19:00

## 東京文化会館 小ホール

Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall  
S¥6,200 A¥ 4,600 U-25¥1,500 (税込)

- ラフマニノフ:《ロマンス集》  
私は彼女の家に行った op.14-4 / 夜の静けさに op.4-3 / いや、お願いだ、行かないで op.4-1 / わが子よ、おまえは花のように美しい op.8-2 / 昨日私たちは会った op.26-13 / 私はすべてを奪われた op.26-2 / 思い op.8-3 / 昔から恋には慰めは少なく op.14-3 / あなたは皆に愛される op.14-6 / 彼女は真昼のように美しい op.14-9
- ラフマニノフ:  
カヴァティーナ(歌劇《アレコ》より)
- R.シュトラウス:  
ひそやかな誘い op.27-3 / 夜の逍遙 op.29-3 / 明日には! op.27-4 / 私の思いのすべて op.21-1 / ああ悲しい、不幸なる者よ op.21-4 / ツェチャーリエ op.27-2 / あこがれ op.32-2 / ああ恋人よ、私は別れねばならない op.21-3 / 万霊節 op.10-8 / 憩え、わが心 op.27-1 / 献呈 op.10-1 / 私はおまえを愛する op.37-2 / マヤの物語(歌劇《ダナエの愛》より)
- ワーグナー:  
オランダ人のモノローグ(歌劇《さまよえるオランダ人》より)

- Rachmaninov: "Romances" I was with her op.14-4 / Silence of the secret night op.4-3 / Oh stay, my love, forsake me not ! op.4-1 / Child, thou art as beautiful as a flower op.8-2 / When yesterday we met op.26-13 / He took all from me op.26-2 / Brooding op.8-3 / For long there has been little consolation in love op.14-3 / How everyone loves thee op.14-6 / She is as lovely as the noon op.14-9 ●Rachmaninov: Cavatina ("Aleko") ●R. Strauss: Heimliche Aufforderung op.27-3 / Nachtgang op.29-3 / Morgen ! op.27-4 / All' mein Gedanken op.21-1 / Ah weh mir unglücklichstem Mann op.21-4 / Cäcilie op.27-2 / Sehnsucht op.32-2 / Ach Lieb, ich muss nun scheiden op.21-3 / Allerseelen op.10-8 / Ruhe, meine Seele ! op.27-1 / Zueignung op.10-1 / Ich liebe Dich op.37-2 / Maja Erzählung ("Die Liebe der Danae") ●Wagner: Monolog des Holländers ("Der Fliegende Holländer")

### レフ・ナピエラワ(ピアノ)

Lech Napierala (Piano)

ポーランド生まれ。ウィーン国立音楽大学で歌曲伴奏を学ぶ。ワルシャワでアンジェイ・ステファンスキらに師事。ソリスト、室内楽奏者、声楽家の伴奏者として活躍。定期的に共演する歌手にコニエチュニー、O.パシェチニック、M.ボヒネク、A.ガリフツリーナらがいる。

